

平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

プレアビヒア州コンポンスロラウ・ムオイ船着場建設計画 完成式典開催

2月19日（木）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「プレアビヒア州コンポンスロラウ・ムオイ船着場建設計画」（供与額限度額：107、545米ドル）により建設された船着場の完成式典が、プレアビヒア州コンポンスロラウ・ムオイ地区で開催されました。右式典には、オーム・マラ プレアビヒア州知事、サム・リアントリー プレアビヒア州公共事業運輸局長及び日本国大使館からは飯塚書記官が祝辞を述べるとともに、政府関係者及び地域住民ら約300名が参列しました。

本案件は、プレアビヒア州チャエップ郡において船着場を建設することで、同地域における物資の輸送を促進、地域を活性化させ地域住民の貧困削減に資することを目的として、2013年12月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典を実施する運びとなりました。

式典では、まずサム・リアントリー プレアビヒア州公共事業運輸局長が本案件概要を紹介しました。続いて、飯塚書記官がスピーチを行い、「本事業の完成式を行うことができ嬉しく思う。本事業で地元の人々にとって日常生活に不可欠であるメコン川での物資輸送を促進することで地域の活性化に役立ち、日本とカンボジアの友好の証として末永く利用されることを願う。」と述べました。さらに、オーム・マラ プレアビヒア州知事がスピーチを行い、「日本は、長期に渡って草の根無償資金協力の援助を通して多岐の分野に貢献しており、カンボジアにおいて支援を継続している日本国民及び政府への感謝の意を表す。」と述べました。その後、完成したばかりの船着場施設においてテープカットを行い、式典は終了しました。



①式典の様子



②式典に参加する地域住民や学生約300名



③飯塚書記官によるスピーチ



④オーム・マラ州知事のスピーチ



⑤飯塚書記官によるリボンカッティング



⑥オーム・マラ州知事によるリボンカッティング



⑦船着場見学



⑧ドナーボード